

掛け幕の滝

高さ約 20m の掛け幕の滝は、菊池溪谷で最も高い滝である。滝の真上にある橋から、または橋の下にある小さな台から見る事ができる。滝の下から吹き上がる水しぶきは、どちらの場所からも見る事ができる。条件次第では、水しぶきの中に虹がかかることもある。滝の名前は「掛かっている幕」という意味で、滝の水が背後の崖を隠し、まるで舞台と観客を隔てる大きな緞帳のように見える。菊池溪谷を代表する険しい滝の一つである。溪谷の火山岩は、噴火による高温の物質と低温の空気との相互作用によって、垂直方向に割れ目ができている。この割れ目に水が入り込むと、やがて岩の塊が落ちてくる。その結果、切り立った崖がこのような滝になる。